

MeiSeiZei



名古屋青年税理士連盟会報



AUTUMN 2011
No. 195

02-全青税神戸大会定時総会・懇親会
04-名古屋税 会員・家族懇親会

06-岐阜青税・名古屋青税ディベート交流試合
京都青税・名古屋青税ディベート交流試合

08-INFORMATION

<http://www.meiseizei.gr.jp/>

全国青年税理士連盟 第44回定時総会

●日時／平成23年8月6日 ●場所／ANAクラウンプラザホテル神戸



去る8月6日(土)、神戸市にあるANAクラウンプラザホテル神戸において、全国青年税理士連盟第44回定時総会(神戸大会)が開催されました。当日は、今年の夏を象徴するかのような猛暑の中、全国各地から多くの会員が会場に集まりました。

定時総会前の基調講演では、税理士の江崎鶴男先生を講師にお迎えし、「税務訴訟における税理士が果たすべき役割」について、ご講演いただきました。

講師の江崎先生には、長崎年金二重課税訴訟の原告補佐人として奮闘された体験等を熱く語っていただきました。

基調講演後、定時総会の開会に先立ち、東日本大震災犠牲者並びに物故者への黙祷が行われました。その後、名古屋青税小関剛史会員の開会宣言により定時総会がスタートし、来賓紹介、そして片山泰宏会長の挨拶へと進んで行きました。会長の挨拶は、この1年間の活動を振り返り、数多くの「Challenge」を通して掴んだであろう「Aozei Spirits」に溢れる、達成感に満ちた挨拶となりました。

議案審議においては、議長の1人として名古屋青税武山卓史会員が選出され登壇いたしました。名古屋青税水野誠総務部長より、第1

号議案の事業報告がなされ、その後、第2号議案の決算報告も行われました。第4号議案の役員改選では、城田英昭会長等推薦委員長が次期全国青年税理士連盟会長として近畿青税の市木雅之会員を推薦され、満場一致で承認されました。

第5号議案の事業計画、そして第6号議案の予算書では、会員増強について、東日本大震災への支援について等、多くの会員からの質問があり、活発な質疑応答が行われ、満場一致で全議案が承認可決されました。

市木雅之新会長の就任挨拶は、落ち着いた口調ながらも、税理士法改正への積極的な姿勢や組織拡充への意気込みなど、その発せられる言葉1つ1つに熱い思いが伝わってくる挨拶となりました。そして、池田隼啓日本税理士会連合会会長、宮田義見近畿税理士会会長、金完鎰韓国税務士考試会会長など多くの来賓の方からのご挨拶を頂き、約2時間半にわたる定時総会は無事終了いたしました。

最後に、片山(前)会長、水野(前)総務部長、この1年間の全青税の活動、本当にお疲れ様でした。

熱田支部 白井 義人

平成23年8月6日、ANAクラウンプラザホテル神戸。全国青税会長として最後の挨拶。壇上に立った私の目に映ったのは、多くの仲間の顔でした。全国青税会長としての1年間、この仲間に支えられてきたんだ、と改めて実感しました。皆様のおかげで無事会長を務めることができました。心より感謝申し上げます。私は16年間の青税活動で、さまざまな貴重な経験と多くの仲間を得ることができました。青税活動の意義をどこに見出すかは、人それぞれ価値観が違うため、さまざまだと思います。私はかけがえのない宝を手に入れることができました。是非皆さんも青税で自分の“宝物”を見つけてください。

全国青年税理士連盟(前)会長 片山 泰宏



8月をもちまして全青総務部長を退任しました千種支部の水野誠です。

地元名古屋の広報誌ですから、全青の様な堅苦しい挨拶でなく書かせていただこうと思います。

青税入会3年目で、当然知ってる人なんていない全国青税の総務部長を片山前会長に無茶振りされ、「無理です!」の即答で始まった一年でしたが、終わってみれば、もっとやりたかったと思っているのが本音です。全国でそれぞれ活躍している元執行部のメンバーはもちろん、なにより、片山前会長ご自身が名青を卒業してしまつて東海税理士会に活躍の場を移してしまつたこともその思いに拍車をかけています。そもそも片山前会長は、地理的にも車が無いと生活が出来ない様な山奥で...おっと、ここまで。(笑)

とは言え、ノスタルジーに浸る余裕はありません。既に、名青の委員長、そして全青国際部長としての活動も本格化しています。今、周りにいる仲間と青税を盛り上げていくことが、片山前会長の遺言(笑)を実行することだと思しますので、精一杯がんばりたいと思います。

最後に、千種支部の皆様をはじめ、こんな頼りない総務部長を応援していただいた皆様に心から感謝申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました!

全国青年税理士連盟(前)総務部長 水野 誠

任期を終えたその男の顔は安堵と感謝で満たされていた。

2011年8月6日、全国青税神戸大会懇親会。男はいつものように懇親会場の各テーブルをこまめに回り、笑顔で参加者一人一人への挨拶と酌を続けている。

これより数時間前、定時総会においてその地位を後任に譲った彼は、一年にわたった全国青年税理士連盟会長という大役から解放されたばかりだ。

参加者もこれまでの彼の苦勞に思いを馳せ、最大級の賛美と労いの言葉を添えて酌を返す。

十年以上の長きに渡り青税活動に関わってきた彼がその集大成として臨んだこの一年。多くの艱難辛苦があったであろうことは想像に難くないが、こともなげに乗り越え、そしてその成果を「すべて仲間のおかげ」と謙遜してみせる彼に全国青税のすべての会員が敬意の念を新たにしたい夜となった。

この日の神戸は花火大会。夜空を焦がす無数の花火を仰ぐ彼、片山泰宏の胸にはどんな思いが去来しているだろう。大事を成し遂げた達成感か、それともすべてが終わってしまうという寂寥か。そんな答えなき問いを想いながら筆者も帰路を優しく照らすはかなき大輪を見上げた。

北支部 小林 弘隆

全 青 税 神 戸 大 会
定 時 総 会 懇 親 大 会

平成23年8月28日(日)、名青税家族会を開催しました。乳児から、名青税を卒業された先輩御家族まで、110名の方にご参加いただきました。バス3台に分乗して、南木曽温泉リゾートへ出発。1号車では、DJ.TAKが恒例のバスジャック。乗っている参加者・家族に様々な波紋を残しつつ、あっという間に長野に到着しました。

ホテル南木曽に到着後、長尾会長の心温まる挨拶の後、全員で記念撮影。

お土産店、「木曽路館」でMy檜はし作りを体験しました。初めてかんなを手にした子供達は、一生懸命木を削り、だんだん棒の先が細くなっていく様子に興味津々でした。できあがったMy檜はしは、箱に入れて記念に持ち帰りました。さらに、檜の香りがするかんなくずを、小袋に入れて「におい袋」としてお土産に。ゴミをださない、環境にやさしいアイデアだと思います。

その後、バスで敷地内を移動し、昼食会場へ。大自然のなかで、バーベキューを行い、美味しい地ビールを堪能しました。子供達は、魚のつかみ取りや、魚釣りに挑戦。

普段ボールペンしか持たないお父さんが、釣竿をもって奮闘する姿は、きっと家族の方に感動を与えたことでしょう。取った魚は、その場で串焼きにして美味しくいただきました。

満腹になった子供達は、木曽馬や、うさぎにエサをあげたり、そこらじゅうを走り回ったりと、アドレナリン全開で遊びまわっていました。そして最後は、ホテルの大浴場で檜風呂につかり、今日一日の汗と、毎日の仕事の疲れと、今までの様々な悪業を洗い流しました。

帰りのバスでは、多くの方が疲れのためか眠るなか、無事、金山に到着し、みな笑顔で解散いたしました。

今回の家族会で、みなさんが「楽しかったよ」と言って下さったことが、私たち厚生部メンバーの最高の喜びです。

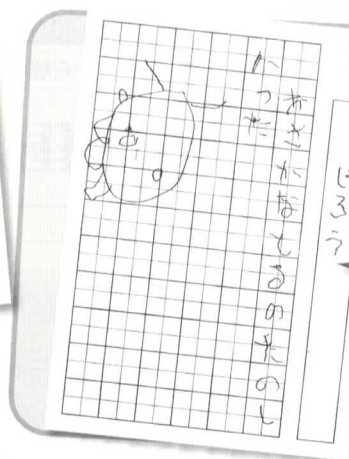
ご参加いただいた、皆様に心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

最後に、事前準備と当日のお手伝いしていただいた厚生部の皆様、また参加者の取りまとめをしていただいた各支部の支部長の先生方、本当に有難うございました。

中川支部 高崎 勇一



名青税 会員・家族懇



長尾滋郎(じろう)くん

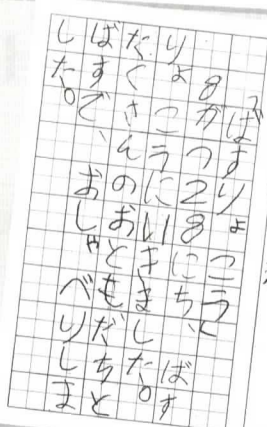
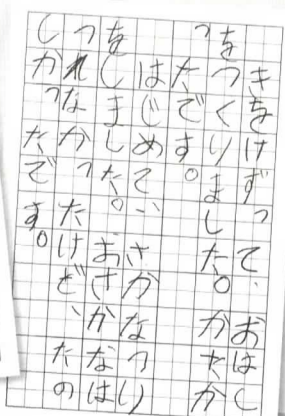
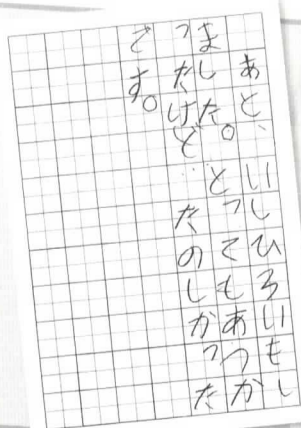


親会

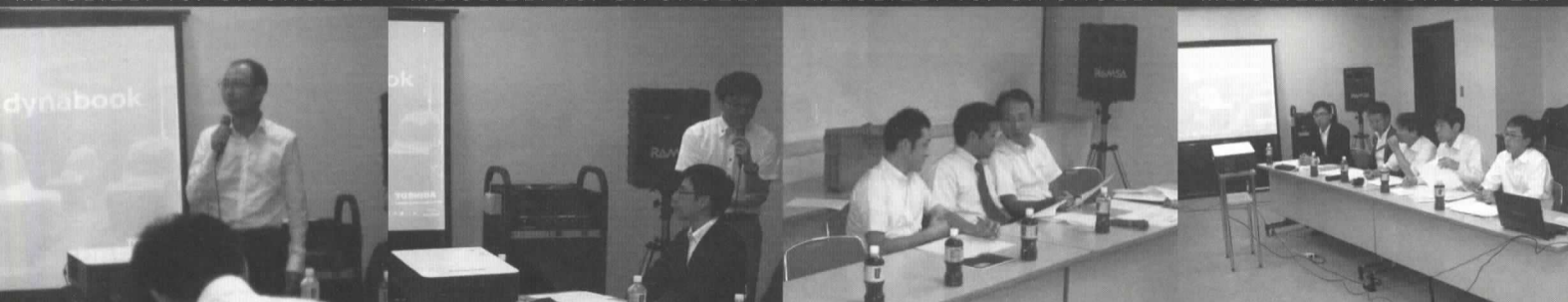
日 時／平成23年8月28日

場所／南木曾温泉リゾート

木テル木曾路



長尾佳衛(よしえ)くん



ディベート交流試合 (VS.岐阜青税)

●日時／平成23年8月2日 ●場所／名古屋都市センター

8月2日(火)、名古屋都市センターにおいて「岐阜青税・名古屋青税ディベート交流試合」が開催されました。11月13日(日)の秋季シンポジウムを見据えた練習試合です。中田岐阜青税会長およびご出席いただいた岐阜青税の皆様、また、千葉より審査委員としてご出席いただいた雨宮様には心より感謝申し上げます。

双方準備をして臨んだものの、結果としては「青税らしい」ディベートには至りませんでしたが、それでも多くの課題を見出すことができ、またディベートを初経験した会員も多く、とても貴重な場となりました。

ディベート自体は白熱という評価を審査委員の皆様からは頂けませんでした。名古屋青税一年生の私としては、審査委員を務められた長尾会員と、コーディネーター役の武山会員とのディベート後の本気の意見のぶつけ合い、またご観戦いただいた会員の皆様

の活発なフィードバックでの発言に「青税らしさ」を感じました。また、事前の制度部での勉強会、そして当日の懇親会での交流と、同じ目的に向かい時間を共有できたことに素晴らしさを感じました。

今回、「ディベート」というものに対する個々の考え方は様々だという印象を持ちましたが、秋季シンポ当日では、ディベート準備に関わる当事者の皆様、そして観戦される皆様が、笑顔で満足して気分の良い締めくくりができるような「青税らしいディベート」として成功を迎えられたらと感じました。

制度部としましては、秋季シンポ本番にて「青税らしいディベート」になるよう妹尾制度部長のもと制度部員一丸となり準備してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。有難うございました。

中支部 美谷脇 東治



全青税秋季シンポジウム in NAGOYAのご案内

●日時／平成23年11月13日 ●場所／テレピアホール

今年度の秋季シンポジウムはガラッと趣を替えて『青税流ディベート合戦in名古屋』として開催します。ディベート(討論)という従来と異なる内容に出場される制度部の部員の皆様には戦々恐々の日々を送っていることだと思います。

そこで名古屋青税チームを奮い立たせるためには、多くの声援が必要不可欠であります。是非、皆様のお力で盛り上げて応援しましょう。多くの会員のご参加お待ちしております。『まあいっぺん いりやーせ名古屋!』

全青税秋季シンポジウム実行委員長 磯野 道則



ディベート交流試合 (VS. 京都青税)

●日時／平成23年9月11日 ●場所／キャンパスプラザ京都



9月11日、名青税研究部は京都へ行って参りました。京都青税の方々とのディベート交流戦を2試合行ってきました。ディベートテーマは、1つは「被相続人の過納金の還付請求権は相続財産に当たるのか」、もう1つは「遺産分割の際に支出した弁護士費用は、所得税法第38条に規定する『資産の取得に要した金額』に一切該当しないか否か」。これらのテーマについて、納税者側の立場、課税庁側の立場に分かれて各々の主張をぶつけ合いました。

私自身、ディベート自体が初めての経験でした。相手に勝つ為には、いかにこちらの主張は正しいんだ、相手の主張は筋が通らないんだと、要は相手を言い包める必要があるのですがこれが大変でした。

納税者・課税庁双方の言い分になるほどと納得出来てしまい、条文解釈・適用の難しさやそれでも一方の立場からの主張を一貫し続けなければならない難しさがありました。

ディベートが無事終わった今だからこそ、良い経験が出来たと振り返ることが出来ますが当日は紙を持つ手の震えが止まらない程緊張していました。お恥ずかしい限りです。

ちなみにディベートの結果がどうだったのかと申しますと、名青税の2戦2勝という結果に終わりました。実は参加人数が京都青税の2倍もいて、数で押し切ったところもあるのかもしれませんが、この場で勝利報告をすることが出来てホッとしています。

今回のテーマの元となった判決内容や参考文献を読むたびに、

西支部 天野 鉄也



青 税 流 ディベート合戦 in 名古屋

日 時

2011年11月13日(日)午後1時～

場 所

テレビアホール(シンポジウム会場)
東急ホテル(表彰式・懇親会会場)

- 13:00 開 会 式
- 13:10 第1試合 近畿青税 VS 特別チーム
「納税者番号制度の導入に賛成か VS 反対か」
- 14:10 第2試合 神奈川青税 VS 岐阜青税
消費税「簡易課税制度の維持か VS 廃止(本則のみ)か」
- 15:15 第3試合 東京青税 VS 埼玉青税
消費税「単一税率制度であるべきか VS 複数税率制度にするべきか」
- 16:15 第4試合 千葉青税 VS 名古屋青税
相続税「法定相続分課税制度(現行)であるべきか VS 遺産取得課税方式とするべきか」
- 17:45 表 彰 式・懇 親 会
(終了予定時刻19:45)

2011 全青税秋季シンポジウム in NAGOYA

日 時：平成23年11月13日(日)

場 所：テレビアホール(シンポジウム会場) 東急ホテル(表彰式・懇親会会場)

統一テーマ：青税流ディベート合戦 in 名古屋

対戦相手

対戦テーマ

- 近畿青税vs特別チームの戦 「納税者番号制度の導入に賛成かVS反対か」
- 神奈川青税vs岐阜青税の戦 「簡易課税制度の維持かVS廃止(本則のみ)か」
- 東京青税vs埼玉青税の戦 「単一税率制度であるべきかVS複数税率制度にするべきか」
- 千葉青税vs名古屋青税の戦 「法定相続分課税制度(現行)であるべきかVS遺産取得課税方式とするべきか」

名古屋青年税法
ディベート大会

日 時：平成23年10月23日(日)

場 所：名城大学構内タワー75

名青税シンポジウム

日 時：平成23年12月17日(土)

場 所：未定

理 事 会 報 告

第4回理事会

日 時：平成23年7月19日(火)

場 所：名古屋都市センター

1. 京都青税・名古屋青税ディベート交流試合開催の件
2. 名青税合同研修会開催の件
3. 名青税家族懇親会開催の件

第5回理事会

日 時：平成23年8月18日(木)

場 所：名古屋都市センター

1. 税法ディベート大会開催の件
2. 名青税シンポジウム開催の件
3. 名青税新入会員歓迎会開催の件

第6回理事会

日 時：平成23年9月14日(水)

場 所：名古屋都市センター

1. 勧誘用リーフレット作成の件

義援金のお礼

東日本大震災及び東電原発事故による被害は発生から半年経った現在においても、徐々に復興の槌音が聞こえるようになったとはいえ、避難所での生活を強いられている被災者が多数いる状況が続いています。名青税の会員の皆さんにおかれましても、募金やボランティアなどの活動をされていることと存じます。私たち名青税も、名青税定時総会及び各支部総会において、会員の皆さんよりお預かりした東日本大震災への義援金126,214円を日本赤十字社へ送金する事ができました。会員の皆さんのご厚情に感謝申し上げますとともに、東日本大震災で被災した全ての方の一日もはやい復興をお祈り申し上げます。また、全青税による義援金へ賛同いただいた会員の皆さんにも、改めて感謝申し上げます。

会長 長尾 幸展

編 集
後 記

今年の夏は、本当に暑かった!そして、名青税も熱かった!それは、この広報誌を読んでいただければ伝わるといいます。ちょうど名青税の行事も半分が過ぎました。来月には、名古屋にとって今年度最大のイベントである、全青税秋季シンポジウムが11月13日(日)に名古屋で開催されます。まだまだ暑い季節は続きます!原稿を書いていた方々、写真を撮っていただいた部員の皆さま、そして、広報誌の編集に協力していただきました(有)真清社の河野様、本当にありがとうございます。皆さんの思いが詰まった広報誌です。会員の皆さまもその思いを感じながら読んでいただければ、組織・広報部としても本望でございます。まだまだ、これからも名青税の今をお伝えしていきますので、よろしくお願いいたします。

大野 治彦